

with smile

冬シーズンボランティア、
ご協力ありがとうございました！号

「スマイルアスリート」
スピードスケート

し え ん
ウィリアムソン師円さん



特集

2024 トヨタ FIS パラアルペンスキー

ワールドカップ札幌大会

オリンピック・パラリンピック出場者からのメッセージ

スマイルアスリート

スピードスケート ウィリアムソン^{しえん}師円 さん



自己紹介と最近の活動について

私は北海道の浦河町で生まれ、物心がついた頃からスピードスケートを始めました。高校は親元を離れ山形中央高校に進学し、3年生の時にソチオリンピック2014に出場しました。卒業後は長野県にある名門実業団「日本電産サンキョー」に所属しながらスケートのメッカといわれているオランダへ2年間の留学をしました。そして、22歳の時に出場した平昌オリンピック2018ではチームパシュートにおいて5位入賞を果たしました。

現在は競技の一線からは退き、山形の蔵王温泉「タカミヤホテルグループ」で働きながら選手兼コーチとしてスケートをしています。後輩たちと一緒に滑ることで言葉ではなかなか伝わらないところを体で感じてもらえればいいなという思いで、競技に向き合い続けています。

大会おもしろエピソード

海外の遠征先ではびっくりすることがたくさんありますが、特に印象に残っていることは宿泊先でのアクシデントです。

ロシアのホテルで食事を済ませて部屋に帰ろうとしたところ、エレベーターの中でブレーカーが落ちてしまい、エレベーターの中で1時間ほど閉じ込められてしまったということがあります。エレベーター機内では携帯電話の電波が無かったため、なんとか扉をこじ開けた腕一本分の隙間からスマホを突き出して監督に連絡したのを今でも鮮明に覚えています。

ほかにもレース中に停電になってしまい、窓から差し込むわずかな光を頼りに滑ったりと、日本では珍しいハプニングが度々起こっていました。

ボランティアへの思い

私が2度目に出場したオリンピックは平昌（韓国）だったのでアジア圏ということもあり、日本語が話せるボランティアが多くいらっしゃいました。

言語が通じない国への遠征では知らず知らずのうちに精神的なストレスが溜まっていきますが、胸に「日本語」と書いてあるバッジをつけているボランティアの方々が競技場や選手村に立っているだけで非常に心強かったです。

現地で仲良くなった方とは今でも親交があり、オリンピックはアスリート同士のみならず様々な人の輪を広げられる場所なのだと実感しました。

過去の成功や失敗談

私は競技に取り組むうえで「探求心」が高い方ではないかと思っています。一度浮かんだ疑問は解決するまで追求するということを徹底してきたので、競技人生の浮き沈みは他の選手よりも激しかったと思います。

また、体重の増減は特に苦勞しました。もともと少食の私はシーズンに入るとみるみる体重が落ちてしまう傾向があったので栄養士の指導の下、食事トレーニングで体重を増やしていました。加えてウエイトや自転車による体力トレーニングの成績がみるみる伸びたかと思えば、肝心な氷上で思ったように体を動かせず、長期間にわたって行った肉体改造が水の泡になることもありました。

ただ、それらの経験を経ることで得た知識は自分にとって「選手」としての幅を広げてくれたと思います。



アスリートからの
挑戦状

3人で列になって滑るチームパシュート（団体追い抜き）では、一人一回必ず先頭を引っ張らなければならない？
○か×か。

2024トヨタ FIS パラアルペンスキーワールドカップ

2月10日～15日まで、サッポロテネスキースキー場で「2024トヨタ FIS パラアルペンスキーワールドカップ札幌大会」が開催されました。15か国から約60名のトップアスリートが集結し、世界最高レベルの技術とスピードを競い合いました。今回は札幌大会でおこなわれたパラアルペンスキー競技（2種目）についてご紹介します。

パラアルペンスキー競技

雪山の斜面に設置された赤と青の旗門をいかに早く滑り抜けるかタイムで競い合う競技です。旗門の設置数や立て方によって種目が分かります。また、障害ごとに立位（スタンディング）、座位（シッティング）、視覚障がい（ビジュアリーインペアード）のカテゴリーに分類されます。

大回転（ジャイアントスラローム＝GS）

スピードに加え高度なターン技術が求められる。滑り抜ける旗門の幅は約4m～8m。2本滑った合計タイムで競い合うため、逆転劇も繰り広げられ、最後まで目が離せません。



回転（スラローム＝SL）

旗門の数が最も多く細かいターンを素早く曲がらなければいけないので、もっともテクニカルな種目。旗門ギリギリを滑る選手は、全身でポール（旗門）をなぎ倒して通過するため、プロテクターを身に付けて滑降します。



☆動画でわかりやすく見てみよう！



パラスポーツスタートガイド
【競技紹介動画】スキー紹介

上記の他にも、滑降（ダウンヒル＝DH）、スーパー大回転（スーパーG＝SG）、アルペン複合（＝AC）という種目があり、パラリンピックでは5種目が実施されます。

参考：（公財）日本障がい者スキー連盟 HP

スマサポも大活躍！

大会期間中、スマサポも会場で選手のサポートを行い、5日間にわたる大会を支えました。ご協力いただき、どうもありがとうございました。

主な活動内容

- ・表彰式でのプレゼンターサポート
- ・シットスキー利用者のリフト乗場までの誘導や場内整備
- ・選手控室で飲み物、菓子、サンドイッチなどの配布と補充、ゴミの片付け、ドア開閉補助など





ご協力ありがとうございました！

12・1月には、レバンガ北海道 2024 のホームゲーム、障がい者スポーツ体験会に加えて、「チャレンジ！スポーツパーク」や「ウィンタースポーツ塾」などといった冬でも様々なスポーツを楽しめるイベントが開催されました。「チャレンジ！スポーツパーク」では札幌ドームにて、バスケットボールの「3on3」やパルクール鬼ごっこ、BMX のアクションスポーツなどの体験エリアにて、参加者の受付や競技の補助を行い、2日間にわたるイベントを支えていただきました。

また、「札幌の子どもたちに、より豊かに冬を楽しんで欲しい」・「ウィンタースポーツの楽しさをもっと知って欲しい」というテーマで開催された「ウィンタースポーツ塾」では、フッズスキー場にてスノーボードとリュージュに参加する子ども達のサポートをしていただきました。

冬の寒い中、ご從事いただき、どうもありがとうございました。活動報告書の中から皆さんの声を一部で紹介させていただきます。

◆ウィンタースポーツ塾



○初めてのリュージュ体験した小学生が元気よく楽しそうに体験するのを見てとても楽しかった。

今までもこの活動をしたが今後もこの活動していきたいと思った。

○初めてスノーボードのサポート活動をしたが、とても楽しい一日でした。



◆レバンガ北海道ホームゲーム（第9節～第15節）

○バスケットボールの試合会場設営とバレーボール試合の座席案内をしました、複数競技を同一会場で行うというダイナミックさを体感できました。



○5,380 人のたくさんの来場者でしたが、パンフレット、ハリセンを笑顔で「ありがとう」と言って受け取っていただき、こちらもうれしくなりました。

○初めてのスマサポ参加でしたが、レバンガスタッフさん、他のボランティアさん、アルバイトスタッフさんにも優しくご指導いただき、みなさんが一体となって会場を盛り上げる一員になれて楽しく活動できました。

◆チャレンジ！スポーツパーク

○スケボーや BMX など普段なかなか見られなかったり体験できなかったりするスポーツもあって良かったです。

○冬休み中のお子様のご家族でたくさんいらっしゃって、いろいろなスポーツに果敢に参加している姿を見て、こちらも元気をもらいました！開場から終了まで常に忙しく、有意義な一日を過ごすことができました！

○子供も大人も新しいことに一生懸命チャレンジする笑顔に元気をもらいました。



冬シーズンもボランティア活動に従事いただいたスマサポの皆さん、本当にお疲れ様でした！

〈アスリートからの挑戦状の答え〉 ×。

そのようなルールはありません。近年では先頭交代の際に生じる空気抵抗をなくすために一度も交代せずに後ろの2人が先頭の選手を押してサポートする戦術が主流になってきています。「団体追い抜き」ならぬ、もはや「団体追い抜かない」ですね。